

diBar

バーコードリーダ 設定ガイド

対応機種

diBar Watch Series



人にやさしく、地球にやさしく

Thoughtfully. Living with the Earth

WELCOM DESIGN

<http://www.e-welcom.com/>



ウェルコムデザイン株式会社

本社 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル 〒651-2242

Phone. 078-993-6010 (代) Fax. 078-993-6020

東京 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル 〒113-0034

Phone. 03-3836-9411 (代) Fax. 03-3836-9412

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有な名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

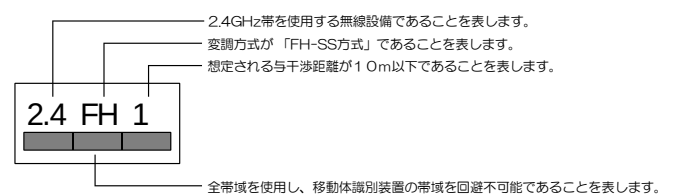
本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「TELEC 電波法」

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。

■ 電波の種類と干渉距離 ■



「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ✧ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ✧ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ ACプラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ ACプラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

1. はじめに	7
2. システムソフト	8
3. クイックソフイグレーション	9
Bluetooth HID 接続 iOS/Android モード (パスワード無し)	9
Bluetooth HID 接続 PC モード (パスワード無し)	10
Bluetooth SPP スレーブ 接続 (パスワード無し)	10
ハット無し/ターミネータ無し	11
ハット無し/ターミネータ ENTER	11
ハット無し/ターミネータ TAB	11
ハット無し/ターミネータ CR/LF	11
4. USB インターフェイスモード 切り替え	12
5. キーボードオプション	12
6. ファンクションボタンの	12
7. 一般動作に関するパラメータ	13
7.1. グットリトリビュートの音色	13
7.2. グットリトリビュートの長さ	13
7.3. グットリトリビュート & グットリトリ LED の出力タイミング	14
7.4. グットリトリバインレーション	14
7.5. グットリトリバインレーションタイマー	15
7.6. パワーアップビュート	15
7.7. リンクビュート	15
7.8. パワーオフタイマー	16
8. 読み取り動作に関するパラメータ	17
8.1. 読み取りモード	17
8.2. オートセレクトモード 感度	17
8.3. オートセレクトモード 読取りタイマー	18
8.4. トリガモード 読取りタイマー	18
8.5. 同一バーコード 読取り防止タイマー	19
9. 無線インターフェイスに関するパラメータ	20
9.1. 専用トランスミッター	20
9.2. Bluetooth プロファイル	20
9.3. BD アドレス	20
9.4. PIN コード	21
9.5. デバイスネーム	21
9.6. SSP (Secure Simple Pairing)	22
9.7. ソフトウェアキーボード 切り替え	22
9.8. 暗号化	22
9.9. デバイス検知	23
9.10. 通信圏外バツファ	23
9.11. データ送信プロトコル	23
9.12. データ送信タイムアウト	24
9.13. アイドルモード	24
9.14. 通信圏外バツファ	24
10. バッテリに関する設定	25
11. USB インターフェイスに関する設定	26
11.1. USB インターフェイスタイプ	26
11.2. USB バッテリ COM オプション	26
11.2.1. ハット/ターミネータ	26
11.3. USB キーボードオプション	27
11.3.1. キーボードタイプ	27
11.3.2. CAPS ロック	27
11.3.3. ファンクションキーエミュレーション	28
11.3.4. 数字データ送信方法	28
11.3.5. アルファベット大文字/小文字変換送信	28
11.3.6. ハット/ターミネータ	29
12. バーコードシンボルに関するパラメータ	30

12.1. コードバ (NW7)	30
12.2. コード 39/コード 32 (イタリアファマコード)	32
12.3. コード 93	34
12.4. コード 128/GS1-128	36
12.5. チャイホーストコード	38
12.6. MSI/Plessey コード	40
12.7. インターブート 2/5	42
12.8. インダストリアル 2/5	44
12.9. JAN/EAN/UPC	45
12.10. COOP 2/5 (NEC 2/5)	47
13. データフォーマット/データ送信に関するパラメータ	48
13.1. メッセージ間送信デレイ	48
13.2. コード ID 送信	48
13.3. ユーザーコード ID	49
13.4. プリフィックス/ホストフィックス	50
13.5. 桁数送信	50
13.6. データ抽出	51
14. 拡張機能	52
14.1. GS1-128 拡張オプション	52
14.2. GS1 Databar 読み取りオプション	52
14.2.1. GS1 Databar 読み取りオプション	52
14.2.2. GS1 Databar リミット 読み取りオプション	53
14.2.3. GS1 Databar イクスポンデット 読み取りオプション	53
14.3. GS1 Databar 拡張オプション	54
14.4. 利用者限定機能	55
14.5. 1:1 照合機能	56
14.6. マルチ照合機能	61
14.7. バコードシンボル個別桁数送信	66
14.8. ファクションキー-イミュレーション (新)	67
14.9. GS1 AI 編集機能	67
14.9.1. GS1 AI 編集機能設定例	69
AI03 = 出力モード (AI) モード	69
AI02 = 出力モード セパレータモード / セパレータ カマ (,)	69
AI02 = 出力モード セパレータモード / セパレータ TAB	69
AI02 = 出力モード セパレータモード / セパレータ STX/ETX	70
AI02 = 出力モード セパレータモード / AI11 = 任意 AI セパレータ (ハット # \$, フット % &)	70
補足 A. キーボードコード表	72
補足 B. ASCII コード表	73
補足 C. フルアスキーバコード表	74
補足 D. シリアルポート	78
補足 D.1. コソフイグ ユレ-ションポート	78
補足 D.2. トリガポート	79
補足 D.3. プザ-ポート	79
補足 D.4. LED ポート	80
補足 D.5. バイブレーションポート	80
補足 D.6. その他のポート	80
補足 E. サブバコード	81
修理依頼書	82

1. はじめに

この度は、弊社 diBar Watch シリーズ (以下、バーコードリーダー) をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、バーコードリーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、バーコードリーダーのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にしても設定が消えることはありません。

2. システムコマンド

コマンドバーコード	説明
 * - - *	<u>設定開始</u> 左記のバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 * + - *	<u>設定終了</u> 左記のバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モードを終了します。
 * - - *	<u>全デフォルト</u> 左記のバーコードをスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 * + + *	<u>設定キャンセル</u> 左記のバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を元の状態に戻します。続けて、「設定終了」をスキャンすることで、元の状態のまま、設定モードを終了することができます。
 * % / *	<u>ファームウェアバージョン</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ファームウェアバージョンを出力します。
 * K E 9 5 *	<u>カスタムデフォルトとして保存</u> 左記のバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容をカスタムデフォルトとして保存します。
 * K E 9 4 *	<u>カスタムデフォルトでリセット</u> 左記のバーコードをスキャンすると、カスタムデフォルト値でリセットします。
 * C S 9 9 *	<u>ニックネームを設定</u> ¹ 左記のバーコードをスキャンした後、6桁~10桁のコード39でエンコードされたバーコードを読み取ると、そのバーコードの内容が、ニックネームとして、フラッシュROMに保存されます。 デフォルトは、000000000000です。
 * W N A D 8 1 *	<u>Ultra Scanデコーディング 有効(デフォルト)</u> 左記のバーコードをスキャンすると、Ultra Scanデコーディングが有効になります。
 * W N A D 8 4 *	<u>Ultra Scanデコーディング 有効</u> 左記のバーコードをスキャンすると、Ultra Scanデコーディングが有効になります。
 * W N 5 5 2 8 *	<u>アウトオブスเปック・ロー/ハイレベルモード 有効(デフォルト)</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ローレベルモードが有効になります。
 * W N 5 5 3 8 *	<u>アウトオブスเปック・ロー/ハイレベルモード 有効</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ローレベルモードが有効になります。
 * U S B D *	<u>USBファームウェアアップデイトモード</u> 左記のバーコードをスキャンすると、USBファームウェアアップデイトモードに移行します。
 * U S B U *	<u>USBファームウェアアップデイトモード(ドングル)</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ドングルファームウェアアップデイトモード(ホストモード)に移行します。

¹ ニックネームは、バーコードリーダーの個体識別などに利用できます。シリアル番号などを登録しておき、シリアルコマンドを使用して、その値を取得します。
また、シリアルコマンドを使用することで、1桁~10桁のニックネームを設定することも可能です。詳しくは、「補足C シリアルコマンド」を参照ください。

3. クイックコンフィグレーション

Bluetooth HID 接続 iOS/Android モード (パスキー無し)

上から順番に読み取ってください。

 * - - *	設定開始
 * - - *	全デフォルト
 * B C O H *	Bluetooth HID
 * B C O I *	Bluetooth HID スマートウォッチモード (iOS/Android)
 * B C 3 7 *	SSP 有効(パスキー無し)
 * B C O K *	ソフトキーボード制御有効 ファンクションキー 1 クリックでソフトキーボード表示/非表示切り替え
 * K E 9 7 *	USB-HID
 * K L 1 5 *	日本語キーボード
 * + - *	設定終了

- ✓ Bluetooth 接続をしていない状態で、USB ケーブルを接続すると、USB-HID キーボードタイプのバーコードリーダーとして動作します。
- ✓ F1 キー長押しで、パッチモードで切り替え可能です。(ファンクションキーが有効な場合)

Bluetooth HID 接続 PC モード (パスキー無し)

上から順番に読み取ってください。

	設定開始
	全デフォルト
	Bluetooth HID
	SSP 有効(パスキー無し)
	USB-HID
	日本語キーボード
	設定終了

- ✓ Bluetooth 接続をしていない状態で、USB ケーブルを接続すると、USB-HID キーボードタイプのバーコードリーダーとして動作します。
- ✓ F1 キー長押しで、パッチモードで切り替え可能です。(ファンクションキーが有効な場合)

Bluetooth SPP スレーブ 接続(パスキー無し)

上から順番に読み取ってください。

	設定開始
	全デフォルト
	Bluetooth SPP スレーブ
	SSP 有効(パスキー無し)
	USB-HID
	日本語キーボード
	設定終了

- ✓ Bluetooth 接続をしていない状態で、USB ケーブルを接続すると、USB-HID キーボードタイプのバーコードリーダーとして動作します。
- ✓ F1 キー長押しで、パッチモードで切り替え可能です。(ファンクションキーが有効な場合)

ハッダ 無しターミネータ 無し上から順番に読み取ってください。

	設定開始
	ターミネータ無し
	設定終了

ハッダ 無しターミネータ ENTER上から順番に読み取ってください。

	設定開始
	ターミネータ CR
	設定終了

ハッダ 無しターミネータ TAB上から順番に読み取ってください。

	設定開始
	ターミネータ TAB
	設定終了

ハッダ 無しターミネータ CR/LF上から順番に読み取ってください。

	設定開始
	ターミネータ CR/LF
	設定終了

データ送信フォーマット

ハッダ	プリフィックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	--------	-------	----------	--------

ハッダ / プリフィックス / コード ID / 桁数 / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

4. USB インターフェイスモード 切り替え

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * B U 2 2 *	USB インターフェイス無効 (無線通信のみ有効)	
 * B U 2 3 *	USB インターフェイス有効 (USB ケーブル接続で有効)	■
 * B U 2 4 *	無線通信無効 (USB インターフェイスのみ使用可能)	

5. キーボード オプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * K L 0 1 *	英語キーボード	■
 * K L 1 5 *	日本語キーボード	
 * C P 0 0 *	CAPS ロックオン	
 * C P 0 1 *	CAPS ロックオフ	■
 * C P 0 5 *	ファンクションキーシミュレーション有効	■
 * C P 0 6 *	ファンクションキーシミュレーション無効	
 * C P 1 8 *	数字のテンキー送信有効	
 * C P 1 9 *	数字のテンキー送信無効	■

6. ファンクションボタン

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * F K 0 1 *	ファンクションボタン有効	■
 * F K 0 0 *	ファンクションボタン無効	

7. 一般動作に関するパラメータ

7.1. グッドリードビーブの音色

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * G R 0 5 *	無音(ビーブ無し) (*)低・中・高音設定で復帰します。	
 * G R 0 2 *	低音	
 * G R 0 1 *	中音	
 * G R 0 3 *	高音	■

7.2. グッドリードビーブの長さ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * G R 1 3 *	5 ミリ秒	
 * G R 1 2 *	20 ミリ秒	
 * G R 1 1 *	50 ミリ秒	■
 * G R 1 0 *	100 ミリ秒	
 * G R 1 4 *	200 ミリ秒	
 * G R 1 5 *	500 ミリ秒	

7.3. グットリドビープ & グットリド LED の出力タイミング

設定開始  * . . *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * L B 0 0 *	データ送信後	■
 * L B 0 1 *	データ送信前	

7.4. グットリドバイブレーション

設定開始  * . . *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * V B 0 0 *	グットリドバイブレーション無し	■
 * V B 0 1 *	グットリドバイブレーション有り/グットリドビープ無し	
 * V B 0 2 *	グットリドバイブレーション有り/グットリドビープ有り	

7.5. グットリードバイレーションタイマー

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * V B 1 0 *	100 ミリ秒	
 * V B 1 1 *	200 ミリ秒	■
 * V B 1 2 *	300 ミリ秒	
 * V B 1 3 *	400 ミリ秒	
 * V B 1 4 *	500 ミリ秒	
 * V B 1 5 *	1 秒	

7.6. パワーアップビープ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * L B 0 4 *	無し	
 * L B 0 3 *	有り	■

7.7. リンクビープ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B T 2 3 *	無し	
 * B T 2 4 *	有り	■

7.8. パワーオフタイマー

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B T 0 0 *	5 分	
 * B T 0 1 *	10 分	
 * B T 0 2 *	20 分	■
 * B T 0 3 *	30 分	
 * B T 1 0 *	1 時間	
 * B T 1 6 *	2 時間	
 * B T 1 7 *	4 時間	
 * B T 1 8 *	6 時間	
 * B T 1 9 *	8 時間	
 * B T 1 2 *	常時	

※ USB ケーブルが接続されているなど、電源供給が行われている場合は、電源は切になりません。

8. 読み取り動作に関するパラメータ

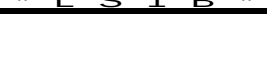
8.1. 読み取りモード

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>トリガモード</u> トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。	■
	<u>オートスキャンモード</u> 常にスキャンを試みます。バーコードの読み取りが、フラッシュモード移行タイマー内にバーコードが読み取られない場合は、フラッシュモードに移行します。	
	<u>オルタネイトモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンモードとなり、再度トリガボタンを押すと、スキャンを終了します。	
	<u>オートセンスモード</u> バーコードを検知すると、ビームを照射して、バーコードをスキャンします。	

8.2. オートセンスモード 感度

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	感度 5(最高)	■
	感度 4	
	感度 3	
	感度 2	
	感度 1(最低)	

8.3. オートセンスモード 読取タイマー

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	1 秒	
	3 秒	■
	5 秒	

8.4. トリガモード 読み取りタイマー

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	トリガを押している間(レザモード)	■
	1 秒	
	2 秒	
	3 秒	
	4 秒	
	5 秒	
	6 秒	
	7 秒	
	8 秒	
	9 秒	
	10 秒	

8.5. 同一バーコード読み取り防止タイマー

設定開始  * S D 0 1 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード		
50 ミリ秒  * S D 0 1 *	100 ミリ秒  * S D 0 2 *	200 ミリ秒  * S D 0 3 *
300 ミリ秒  * S D 0 4 *	400 ミリ秒  * S D 0 5 *	500 ミリ秒 (■)  * S D 0 6 *
600 ミリ秒  * S D 0 7 *	700 ミリ秒  * S D 0 8 *	800 ミリ秒  * S D 0 9 *
1 秒  * S D 1 1 *	1.5 秒  * S D 1 3 *	2 秒  * S D 1 4 *
2.5 秒  * S D 1 5 *	3 秒  * S D 1 6 *	3.5 秒  * S D 1 7 *
4 秒  * S D 1 8 *	4.5 秒  * S D 1 9 *	5 秒  * S D 2 0 *
無限  * S D 1 2 *		

9. 無線インターフェイスに関するパラメータ

9.1. 専用トングルオプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 0 3 *	トングルホストモード	
 * B C 0 5 *	ペアリングロック無し	
 * B C 0 6 *	ペアリングロック有り	
 * B C 0 7 *	ペアリング解除	

9.2. Bluetooth プロファイル

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 0 H *	HID モード	■
 * B C 0 I *	iOS モード iOS との接続の場合、HID モードに続けてスキャンします。	
 * B C 0 1 *	SPP マスター スレーブデバイスの BD アドレスは、コード 39 で「BxxxxxxxxxxxxT」フォーマットにて作成してスキャンするか、「5.2. BD アドレス」で設定します。 PIN コードは、「5.3. PIN コード」で設定します。	
 * B C 2 4 *	SPP マスター接続開始 設定されたスレーブデバイスとの接続を開始します。	
 * B C 0 2 *	SPP スレーブ	

9.3. BD アドレス

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 0 8 *	BD アドレス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルASCIIバーコード表(本書補足B)でBDアドレスをスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンします。	

9.4. PIN コード

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 0 9 *	PIN コード 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで4~8桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コード」「1」「2」「3」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 * B C 0 7 *	PIN コード クリア PIN コードをクリアします。	
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

9.5. デバイス名

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D E V S *	デバイス名 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルスクリーンバーコード表(本書補足B)でデバイス名をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンします。	diBar
 * D E V D *	デバイス名リセット デバイス名を初期値にリセットします。	

9.6. SSP(Secure Simple Pairing)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 3 7 *	<u>SSP 有効</u> SSP を有効にすると、iOS デバイスと PIN コード 無しでソフトウェアで安全なペアリングを行うことができます。	■
 * B C 3 8 *	<u>SSP 無効</u> SSP を無効にします。	

9.7. ソフトウェアキーボード切り替え

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 0 K *	<u>ソフトウェアキーボード 制御</u> iOS で表示されるソフトウェアキーボード 表示を制御します。	
 * V K B D *	<u>ソフトウェアキーボード 表示・非表示切り替え</u> 左のコマンドバーコード をスキャンすると、ソフトウェアキーボード を表示又は非表示にします。	

9.8. 暗号化

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 1 4 *	暗号化	■
 * B C 1 5 *	暗号化	

9.9. デバース検知

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 1 0 *	デバース検知オフ	■
 * B C 1 1 *	デバース検知オン	
 * B T 2 5 *	デバース+BD 非表示	■
 * B T 2 6 *	デバース+BD 表示	

9.10. 通信圏外バッファ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 1 6 *	通信圏外バッファ無し	■
 * B C 1 7 *	通信圏外バッファ有り	

9.11. データ送信プロトコル

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B D 3 0 *	標準(無手順)	■
 * B D 3 1 *	ACK/NAK	

9.12. データ送信タイムアウト

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B D 0 3 *	タイムアウト 3 秒	
 * B D 0 5 *	タイムアウト 5 秒	■
 * B D 0 8 *	タイムアウト 8 秒	
 * B D 1 0 *	タイムアウト 10 秒	
 * B D 1 3 *	タイムアウト 13 秒	
 * B D 1 6 *	タイムアウト 16 秒	
 * B D 2 0 *	タイムアウト 20 秒	

9.13. アイドルモード

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B T 1 4 *	アイドルモード 有効	■
 * B T 1 5 *	アイドルモード 無効	

9.14. 通信圏外バッファ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 1 7 *	通信圏外バッファ機能有効	
 * B C 1 6 *	通信圏外バッファ機能無効	■

10. バッチモードに関する設定

設定開始  * B C 1 8 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B C 1 8 *	バッチモード	
 * B C 2 0 *	<u>バッチデータ送信</u> 左のバーコードをスキャンした後、1 秒以上トリガキーを押すと、バッチデータが送信されます。	
 * B C 2 1 *	<u>バッチデータ自動削除有効</u> バッチデータ送信後、自動的に削除します。	
 * B C 2 2 *	バッチデータ自動削除無効	■
 * B C 3 6 *	バッチデータ送信ビープ有り	■
 * B C 3 5 *	バッチデータ送信ビープ無し	

11. USB インターフェイスに関する設定

11.1. USB インターフェイスタイプ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * K E 8 7 *	USB バージナル COM インターフェイス (USB-COM)	
 * K E 9 7 *	USB キーボード インターフェイス (USB-HID)	■

✓USB バージナル COM (USB-COM) ドライバ (INF ファイル) は、弊社 WEB サイト www.e-welcom.com よりダウンロードしていただけます。

11.2. USB バージナル COM オプション

11.2.1. ハットターミネータ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D T 1 1 *	ハットターミネータ 無し	
 * D T 1 2 *	ハットターミネータ <CR><LF>	
 * D T 1 3 *	ハットターミネータ <CR>	■
 * D T 1 4 *	ハットターミネータ <LF>	
 * D T 1 5 *	ハットターミネータ <TAB>	
 * D T 1 6 *	ハットターミネータ <STX> <ETX>	
 * D T 1 7 *	ハットターミネータ <EOT>	

データ送信フォーマット

ハット	プリフィックス	コード ID	桁数 (2 桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	----------	-------	----------	--------

ハット / プリフィックス / コード ID / 桁数 / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

11.3. USB キーボード オプション

11.3.1. キーボード タイプ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * K L O O *	ALT モード	
 * K L O 1 *	英語キーボード (101/104 キーボード)	■
 * K L 1 5 *	日本語キーボード (106/109 キーボード)	

11.3.2. CAPS ロック

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * C P O O *	CAPS ロック オフ	
 * C P O 1 *	CAPS ロック オン	■

11.3.3. ファンクション-イミュレーション

設定開始  * . . *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 0 6 *	無し	■
 * C P 0 5 *	有り	

11.3.4. 数字データ送信方法

設定開始  * . . *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 1 8 *	フルキーボード送信	■
 * C P 1 9 *	テンキーボード送信	

11.3.5. アルファベット大文字/小文字変換送信

設定開始  * . . *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 2 0 *	無し	■
 * C P 2 1 *	全て大文字に変換	
 * C P 2 2 *	全て小文字に変換	

11.3.6. ハット ターミネータ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * D T O 1 *	ハット 無し ターミネータ 無し	
 * D T O 2 *	ハット 無し ターミネータ Enter キー	■
 * D T O 3 *	ハット 無し ターミネータ TAB キー	

データ送信フォーマット

ハット	プリフィックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	--------	-------	----------	--------

ハット / プリフィックス / コード ID / 桁数 / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

12. バーコードシンボルに関するパラメータ

12.1. コーダバー (NW7)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 2 *	読み取り無し	
 * R C 0 2 *	読み取り有り	■
 * C B 0 5 *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	
 * C B 0 6 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り ABCD/ABCD	■
 * C B 0 7 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り DC1~DC4/DC1~DC4	
 * C B 0 8 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り abcd/tn*e	
 * C B 1 3 *	チェックサム検査(mod 16)無し	■
 * C B 1 4 *	チェックサム検査(mod 16)有り, 送信無し	
 * C B 1 5 *	チェックサム検査(mod 16)有り, 送信有り	
 * C B 1 1 *	連結無し	■
 * C B 1 2 *	連結有り	
 * D C 5 0 *	照合回数 0	■
 * D C 5 1 *	照合回数 1	
 * D C 5 2 *	照合回数 2	
 * D C 5 3 *	照合回数 3	
 * W N 3 3 0 0 *	追加チェック 無し	■
 * W N 3 3 8 A *	追加チェック 10 回	
 * W N 3 3 9 4 *	追加チェック 20 回	
 * W N 3 3 B 2 *	追加チェック 50 回	
 * W N 3 3 E 4 *	追加チェック 100 回	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C B 1 0 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * C B 0 9 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.2. コード 39/コード 32(イタリアフォーマット)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 1 *	読み取り無し	
 * R C 0 1 *	読み取り有り	■
 * R D 1 3 *	コード 32(イタリアフォーマット)読み取り無し	■
 * R C 1 3 *	コード 32(イタリアフォーマット)読み取り有り	
 * 3 9 0 1 *	フルスキー読み取り無し	■
 * 3 9 0 2 *	フルスキー読み取り有り	
 * 3 9 0 4 *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
 * 3 9 0 3 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り	
 * 3 9 0 7 *	チェックビット検査無し	■
 * 3 9 0 6 *	チェックビット検査有り, 送信無し	
 * 3 9 0 5 *	チェックビット検査有り, 送信有り	
 * 3 9 1 1 *	連結無し	■
 * 3 9 1 0 *	連結有り	
 * 3 9 1 3 *	コード 32(イタリアフォーマット)A 送信無し	■
 * 3 9 1 2 *	コード 32(イタリアフォーマット)A 送信有り	
 * D C 0 0 *	照合回数 0	■
 * D C 0 1 *	照合回数 1	
 * D C 0 2 *	照合回数 2	
 * D C 0 3 *	照合回数 3	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 3 9 0 9 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、3桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3
 * 3 9 0 8 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.3. コード 93

設定開始  * 0 0 0 0 *	設定キャンセル  * + + + *	設定終了  * + - + *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 8 *	読み取り無し	
 * R C 0 8 *	読み取り有り	■
 * 9 3 0 3 *	チェックサム検査無し	■
 * 9 3 0 4 *	チェックサム検査有り，送信無し	
 * 9 3 0 5 *	チェックサム検査有り，送信有り	
 * D C 3 0 *	照合回数 0	■
 * D C 3 1 *	照合回数 1	
 * D C 3 2 *	照合回数 2	
 * D C 3 3 *	照合回数 3	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 9 3 0 2 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、3桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3
 * 9 3 0 1 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.4. コード 128/GS1-128

設定開始  * 0 0 0 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 6 *	読み取り無し	
 * R C 0 6 *	読み取り有り	■
 * R D 1 0 *	GS1-128 読み取り無し	■
 * R C 1 0 *	GS1-128 読み取り有り	
 * 1 8 0 3 *	チェックサム検査無し	
 * 1 8 0 4 *	チェックサム検査有り，送信無し	■
 * 1 8 0 5 *	チェックサム検査有り，送信有り	
 * 1 8 0 2 *	FNC2 連結無し	■
 * 1 8 0 1 *	FNC2 連結有り	
 * D C 4 0 *	照合回数 0	■
 * D C 4 1 *	照合回数 1	
 * D C 4 2 *	照合回数 2	
 * D C 4 3 *	照合回数 3	
 * W N 3 4 0 0 *	追加チェック 無し	■
 * W N 3 4 8 A *	追加チェック 10 回	
 * W N 3 4 9 4 *	追加チェック 20 回	
 * W N 3 4 B 2 *	追加チェック 50 回	
 * W N 3 4 E 4 *	追加チェック 100 回	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 1 8 0 7 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、3桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3
 * 1 8 0 6 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.5. チャイホ° スコド°

設定開始  * 0 0 0 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バ°コード	説明	デ°イフォルト
 * R D 0 5 *	読み取り無し	■
 * R C 0 5 *	読み取り有り	
 * S Z 0 3 *	チェック°ット検査無し	■
 * S Z 0 5 *	チェック°ット検査有り，送信無し	
 * S Z 0 4 *	チェック°ット検査有り，送信有り	
 * D C 6 0 *	照合回数 0	■
 * D C 6 1 *	照合回数 1	
 * D C 6 2 *	照合回数 2	
 * D C 6 3 *	照合回数 3	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * S Z O 2 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、8桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「8」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	8
 * S Z O 1 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.6. MSI/Plessey コード

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 4 *	読み取り無し	■
 * R C 1 4 *	読み取り有り	
 * M S 0 4 *	2 チックデジット検査無し, 送信無し	
 * M S 0 3 *	2 チックデジット検査有り, 送信無し	■
 * M S 0 5 *	2 チックデジット検査有り, 第 1 チックデジットのみ送信有り	
 * M S 0 6 *	2 チックデジット検査有り, 2 チックデジット送信無し	
 * M S 0 7 *	1 チックデジット検査有り, 送信無し	
 * M S 0 8 *	1 チックデジット検査有り, 送信有り	
 * D C 7 0 *	照合回数 0	■
 * D C 7 1 *	照合回数 1	
 * D C 7 2 *	照合回数 2	
 * D C 7 3 *	照合回数 3	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * M S O 2 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * M S O 1 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.7. インターリーブド 2/5

設定開始  * 0 0 0 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 4 *	読み取り無し	
 * R C 0 4 *	読み取り有り	■
 * I T 0 3 *	チェックサム検査無し	■
 * I T 0 4 *	チェックサム検査有り，送信無し	
 * I T 0 5 *	チェックサム検査有り，送信有り	
 * D C 8 0 *	照合回数 0	■
 * D C 8 1 *	照合回数 1	
 * D C 8 2 *	照合回数 2	
 * D C 8 3 *	照合回数 3	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 1 T 0 2 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * 1 T 0 1 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
 * 1 T 0 6 *	<u>固定桁数①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「固定桁数①」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。無効にする場合は、00を設定します。	00
 * 1 T 0 7 *	<u>固定桁数②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「固定桁数②」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。無効にする場合は、00を設定します。	00
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.8. インダストリアル 2/5

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 2 1 *	読み取り無し	■
 * R C 2 1 *	読み取り有り	
 * D 2 5 3 *	チェックサム検査無し	■
 * D 2 5 5 *	チェックサム検査有り，送信無し	
 * D 2 5 4 *	チェックサム検査有り，送信有り	
 * D 2 5 2 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は 01~32 です。例えば、6 桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * D 2 5 1 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は 01~32 です。例えば、6 桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

12.9. JAN/EAN/UPC

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	JAN/EAN/UPC 読み取り無し	
	JAN/EAN/UPC 読み取り有り	■
	JAN/EAN/UPC 全種読み取り有り	■
	JAN/EAN-8, JAN/EAN-13 読み取り有り	
	UPC-A, JAN/EAN-13 読み取り有り	
	UPC-A, UPC-E 読み取り有り	
	UPC-A 読み取り有り	
	UPC-E 読み取り有り	
	JAN/EAN-13 読み取り有り	
	JAN/EAN-8 読み取り有り	
	アドコード 読み取り無し	■
	アドコードのみ読み取り有り	
	アドコードのみ読み取り有り	
	アドコード 2, 5 両方読み取り有り	
	アドコード 必須(強制)読み取り無し	■
	アドコード 必須(強制)読み取り有り	
	UPC-E → UPC-A 変換無し	■
	UPC-E → UPC-A 変換有り	
	UPC-A → EAN-13 変換無し	■
	UPC-A → EAN-13 変換有り	
	EAN-8 → EAN-13 変換無し	■

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * U E 4 4 *	EAN-8 → EAN-13 変換有り	
 * R D 1 1 *	EAN → ISSN/ISBN 変換無し	■
 * R C 1 1 *	EAN → ISSN/ISBN 変換有り	
 * U E 1 8 *	UPC-A チェックディジット送信無し	
 * U E 1 7 *	UPC-A チェックディジット送信有り	■
 * U E 2 2 *	UPC-E チェックディジット送信無し	
 * U E 2 1 *	UPC-E チェックディジット送信有り	■
 * U E 2 4 *	JAN/EAN-8 チェックディジット送信無し	
 * U E 2 3 *	JAN/EAN-8 チェックディジット送信有り	■
 * U E 2 6 *	JAN/EAN-13 チェックディジット送信無し	
 * U E 2 5 *	JAN/EAN-13 チェックディジット送信有り	■
 * U E 2 0 *	UPC-E 先頭桁送信無し	
 * U E 1 9 *	UPC-E 先頭桁送信有り	■
 * U E 2 8 *	UPC-A 先頭桁送信無し	
 * U E 2 7 *	UPC-A 先頭桁送信有り	■
 * U E 6 1 *	EAN-13 先頭 0(カントリーコード)送信無し	■
 * U E 6 0 *	EAN-13 先頭 0(カントリーコード)送信有り	
 * U E 3 1 *	アドオンコード 5桁送信無し	■
 * U E 3 0 *	アドオンコード 5桁送信有り	
 * U E 4 3 *	新雑誌コード (491)アドオン 5 読み取り有り	

12.10. COOP 2/5(NEC 2/5)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 2 *	読み取り無し	■
 * R C 1 2 *	読み取り有り	
 * D 1 5 3 *	チェックビット(Mod 10 ウェイト3)検査無し	■
 * D 1 5 5 *	チェックビット(Mod 10 ウェイト3)検査有り, 送信無し	
 * D 1 5 4 *	チェックビット(Mod 10 ウェイト3)検査有り, 送信有り	
 * D 1 5 2 *	<u>読取最小桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * D 1 5 1 *	<u>読取最大桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。 設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

13. データフォーマットデータ送信に関するパラメータ

13.1. メッセージ間送信デレイ

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	100 ミリ秒	
	500 ミリ秒	
	1 秒	

13.2. コード ID 送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	有り(標準コード ID)	

バーコードシンボル	標準コード ID
コード 39	M
インターリーブド 2/5	I
インダストリアル 2/5	D
チャイボーストコード	H
UPC-A	A
UPC-E	E
JAN/EAN-13	F
JAN/EAN-8	FF
コードバール(NW7)	N
コード 128	K
コード 93	L
MSI/PLESSEY	P
COOP 2/5	G
GS1 Databar	RS
GS1 Databar リミテッド	RL
GS1 Databar イクスパンデッド	RX

データ送信フォーマット

ハット	プリフィックス	コード ID	桁数(2 桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	---------	-------	----------	--------

ハット/プリフィックス/コード ID/桁数/ポストフィックス/ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

13.3. ユーザーコード ID

設定開始  * 0 0 0 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

下記のバーコードシボ ルタイプ をスキャンした後、フルスキーバーコード表(本書 補足 B)から 1~2 文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコード をスキャンして、任意のコード ID を設定します。

コード 39  * C I 0 1 *	インタープリント 2/5  * C I 0 2 *
チャイボーストコード  * C I 0 3 *	UPC-E  * C I 0 4 *
UPC-A  * C I 0 5 *	JAN/EAN-13  * C I 0 6 *
JAN/EAN-8  * C I 0 7 *	コーダバ (NW7)  * C I 0 8 *
コード 128  * C I 0 9 *	コード 93  * C I 1 0 *
MSI コード  * C I 1 1 *	COOP 2/5  * C I 1 8 *
インダストリアル 2/5  * C I 1 5 *	GS1 Databar  * C I 1 2 *
GS1 Databar リミテッド  * C I 1 3 *	GS1 Databar イクソソデット  * C I 1 4 *

✓ ユーザーコード ID の設定は、「13.2.コード ID 送信」を有りに設定した後、行ってください。「13.2.コード ID 送信」を有りに設定すると標準コード ID で初期化が行われます。

13.4. プリフィックス/ポストフィックス

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * H T O 1 *	プリフィックス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルアスキーバーコード表(本書補足B)から1~10文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のプリフィックスを設定します。	
 * H T O 2 *	ポストフィックス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルアスキーバーコード表(本書補足B)から1~10文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のポストフィックスを設定します。	

データ送信フォーマット

ハッド	プリフィックス	コードID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	-------	--------	-------	----------	--------

ハッド/プリフィックス/コードID/桁数/ポストフィックス/ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

13.5. 桁数送信

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 1 2 *	無し	■
 * C P 1 1 *	有り	

データ送信フォーマット

ハッド	プリフィックス	コードID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	-------	--------	-------	----------	--------

ハッド/プリフィックス/コードID/桁数/ポストフィックス/ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

13.6. データ抽出

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * H T O 3 *	前方データ削除桁数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、読取データの先頭3桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方データ削除桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 * H T O 4 *	後方データ削除桁数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、読取データの先頭3桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方データ削除桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

14. 拡張機能

14.1. GS1-128 拡張オプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 1 8 1 1 *	Jc1 送信無し	
 * 1 8 1 0 *	Jc1 送信有り	■
 * 1 8 2 1 *	GS1-128/GS1 Databar 共通設定 フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信無し	■
 * 1 8 2 0 *	GS1-128/GS1 Databar 共通設定 フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信有り	
 * 1 8 2 2 *	フィールドセパレータ GS 置換キャラクタ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルアスキーバーコード表(本書補足 B)から 1~2 文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のフィールドセパレータ GS 置換キャラクタを設定します。	GS(1Dh)

14.2. GS1 Databar 読み取りオプション

14.2.1. GS1 Databar 読み取りオプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 5 *	読み取り無し	■
 * R C 1 5 *	読み取り有り	
 * S S 0 1 *	チェックディジット送信無し	
 * S S 0 0 *	チェックディジット送信有り	■
 * S S 0 3 *	アプリケーション ID (01) 送信無し	
 * S S 0 2 *	アプリケーション ID (01) 送信有り	■
 * S S 0 4 *	Jc1 送信無し	■
 * S S 0 5 *	Jc1 送信有り	

14.2.2. GS1 Databar リミット 読み取りオプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 6 *	読み取り無し	■
 * R C 1 6 *	読み取り有り	
 * S S 1 1 *	チェックビット送信無し	
 * S S 1 0 *	チェックビット送信有り	■
 * S S 1 3 *	アプケーション ID(01)送信無し	
 * S S 1 2 *	アプケーション ID(01)送信有り	■

14.2.3. GS1 Databar エクスパンデット 読み取りオプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 7 *	読み取り無し	■
 * R C 1 7 *	読み取り有り	
 * S S 0 9 *	チェックビット送信無し	
 * S S 0 8 *	チェックビット送信有り	■
 * S S 1 7 *	アプケーション ID(01)送信無し	
 * S S 1 6 *	アプケーション ID(01)送信有り	■
 * S S 0 6 *	JC1 送信無し	■
 * S S 0 7 *	JC1 送信有り	

14.3. GS1 Databar 拡張コード

設定開始  * 1 8 2 4 *	設定キャンセル  * + + +	設定終了  * + - +
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 1 8 2 4 *	]C1/]e0 送信無し	■
 * 1 8 2 5 *	]C1 送信有り SS05/SS07 コマンドとは別に動作します。	
 * 1 8 2 6 *	]e0 送信有り SS05/SS07 コマンドとは別に動作します。	
 * 1 8 2 1 *	<u>GS1-128/GS1 Databar 共通設定</u> フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信無し	■
 * 1 8 2 0 *	<u>GS1-128/GS1 Databar 共通設定</u> フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信有り	
 * 1 8 2 3 *	<u>フィールドセパレータ GS 置換キャラクタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルスキーバーコード表(本書補足 B)から 1~2 文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のフィールドセパレータ GS 置換キャラクタを設定します。	GS(1Dh)

14.4. 利用者限定機能

利用者限定機能を使用することで、登録された利用者だけにバーコードをスキャンさせることができます。最初に利用者コードをスキャンし、そのコードが登録された利用者コードであれば、バーコードリーダーは通常の動作状態となります。利用者コード再読取タイマーで設定された時間、アイドル状態が続くと、再度利用者コードの入力が求められ、登録されている利用者コード以外が読み取られた場合は、アラーム「ピリリリ！」が鳴動します。

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	利用者限定機能無し	■
	利用者限定機能有り	
	利用者コード登録 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてIA00で始まるコード39で作成したバーコードをスキャンします。例えば、IA00TAROというバーコードの場合、TAROが利用者コードとして登録されます。1~28桁の利用者コードが使用でき、約30件の利用者コードをメモリに登録することができます。 利用者コード登録用 利用者コード 	
	利用者コード前件削除	
	利用者コード再読取タイマー 無し	
	利用者コード再読取タイマー 1分	
	利用者コード再読取タイマー 3分	■
	利用者コード再読取タイマー 5分	
	利用者コード再読取タイマー 10分	
	利用者コード再読取タイマー 20分	
	利用者コード再読取タイマー 30分	
	利用者コード再読取タイマー 60分	

14.5. 1:1 照合機能

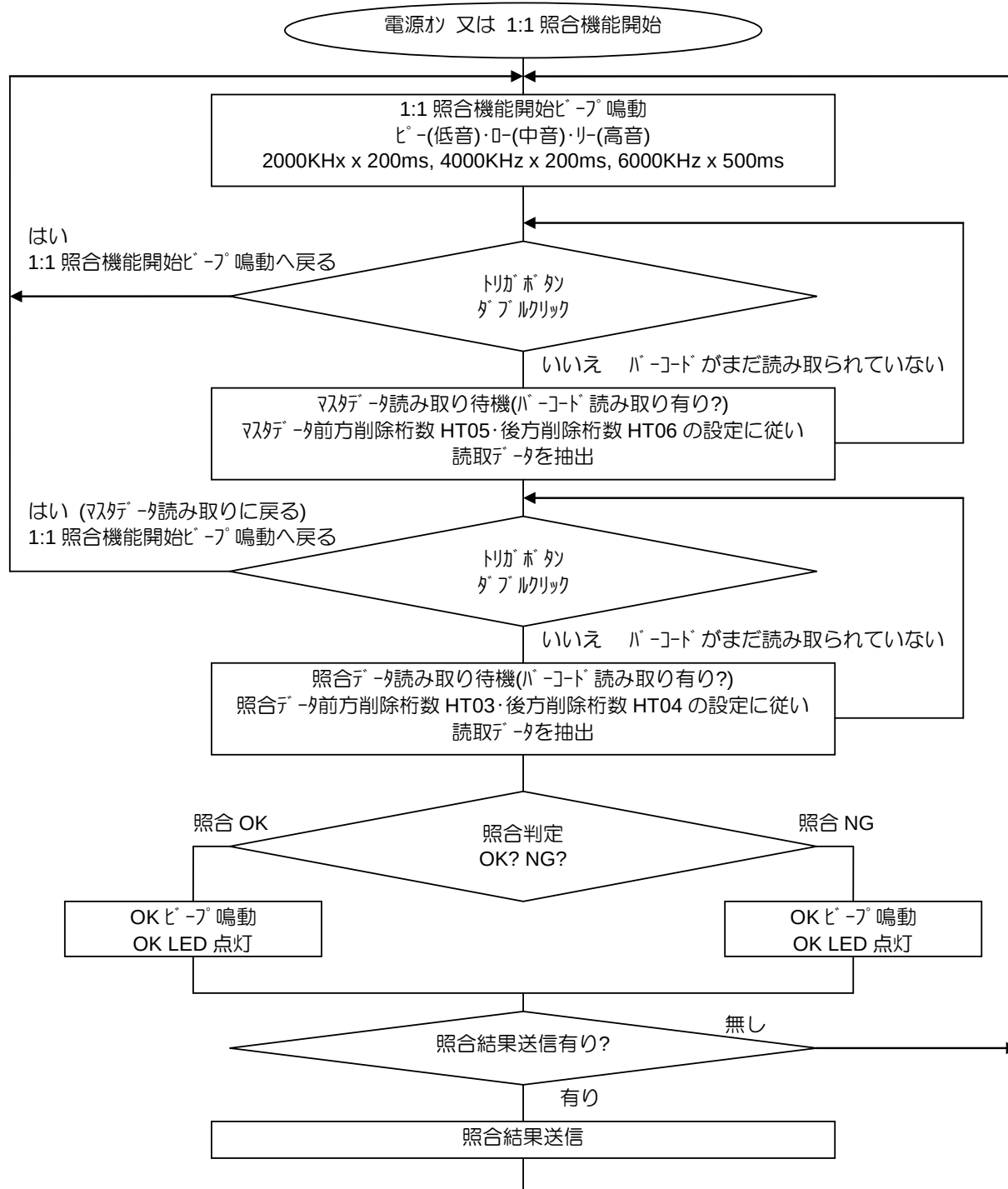
1:1 照合機能は、最初に読み取ったバーコードと次に読み取ったコードを照合し、OK/NGの判定を行う機能です。OK/NG それぞれにビープ音色・鳴動時間及び LED 点灯回数・点灯時間を設定できるため、オペレータは PC の画面を確認することなく作業を行うことが可能です。また、照合結果送信有りに設定することで、照合結果を PC に送信することができます。送信フォーマットは下記の通りです。

照合結果送信フォーマット

ヘッド	プリフィックス	マスターコード	照合結果 フィールドセパレータ	照合データ	照合結果 フィールドセパレータ	結果 NG/OK	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	---------	--------------------	-------	--------------------	-------------	----------	--------

ヘッド / プリフィックス / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

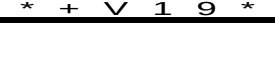
1:1 照合機能動作フローチャート



設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W I 1 *	1:1 照合機能無し	■
 * + W I 0 *	1:1 照合機能有り	
 * + W S 0 *	照合結果フィルタレータ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルスキーバーコード表(本書補足C)から1文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意の照合結果フィルタレータを設定します。	, (2Ch)
 * H T 0 5 *	マスタデータ前方削除桁数	0
 * H T 0 6 *	マスタデータ後方削除桁数	0
 * H T 0 3 *	照合データ前方削除桁数	0
 * H T 0 4 *	照合データ後方削除桁数	0
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W 1 5 *	1:1 照合結果送信無し	
 * + W 1 4 *	1:1 照合結果送信有り	■
 * + S 1 1 *	照合結果 OK LED 1 回点灯	■
 * + S 1 2 *	照合結果 OK LED 2 回点灯	
 * + S 1 3 *	照合結果 OK LED 3 回点灯	
 * + S 1 4 *	照合結果 OK LED 4 回点灯	
 * + S 1 5 *	照合結果 OK LED 5 回点灯	
 * + S 2 1 *	照合結果 OK LED 点灯時間 100 ミリ秒	
 * + S 2 2 *	照合結果 OK LED 点灯時間 200 ミリ秒	
 * + S 2 3 *	照合結果 OK LED 点灯時間 300 ミリ秒	■
 * + S 2 4 *	照合結果 OK LED 点灯時間 400 ミリ秒	
 * + S 2 5 *	照合結果 OK LED 点灯時間 500 ミリ秒	
 * + V 1 0 *	照合結果 OK バイブレーション 無し	■
 * + V 1 1 *	照合結果 OK バイブレーション 有り	
 * + V 1 2 *	照合結果 OK バイブレーション時間 100 ミリ秒	
 * + V 1 3 *	照合結果 OK バイブレーション時間 200 ミリ秒	■
 * + V 1 4 *	照合結果 OK バイブレーション時間 300 ミリ秒	
 * + V 1 5 *	照合結果 OK バイブレーション時間 500 ミリ秒	
 * + V 1 6 *	照合結果 OK バイブレーション時間 1 秒	
 * + V 1 7 *	照合結果 OK バイブレーション時間 3 秒	
 * + V 1 8 *	照合結果 OK バイブレーション時間 5 秒	
 * + V 1 9 *	照合結果 OK バイブレーション時間 トリガ 押下迄	

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + S 3 0 *	照合結果 OK ビーゾ 音色 無し	
 * + S 3 1 *	照合結果 OK ビーゾ 音色 低音	
 * + S 3 2 *	照合結果 OK ビーゾ 音色 中音	
 * + S 3 3 *	照合結果 OK ビーゾ 音色 高音	■
 * + S 2 1 *	照合結果 OK ビーゾ 鳴動時間 100 ミ秒	
 * + S 2 2 *	照合結果 OK ビーゾ 鳴動時間 200 ミ秒	
 * + S 2 3 *	照合結果 OK ビーゾ 鳴動時間 300 ミ秒	
 * + S 2 4 *	照合結果 OK ビーゾ 鳴動時間 400 ミ秒	
 * + S 2 5 *	照合結果 OK ビーゾ 鳴動時間 500 ミ秒	■
 * + S 5 1 *	照合結果 NG LED 1 回点灯	
 * + S 5 2 *	照合結果 NG LED 2 回点灯	
 * + S 5 3 *	照合結果 NG LED 3 回点灯	■
 * + S 5 4 *	照合結果 NG LED 4 回点灯	
 * + S 5 5 *	照合結果 NG LED 5 回点灯	
 * + S 6 1 *	照合結果 NG LED 点灯時間 100 ミ秒	
 * + S 6 2 *	照合結果 NG LED 点灯時間 200 ミ秒	
 * + S 6 3 *	照合結果 NG LED 点灯時間 300 ミ秒	■
 * + S 6 4 *	照合結果 NG LED 点灯時間 400 ミ秒	
 * + S 6 5 *	照合結果 NG LED 点灯時間 500 ミ秒	
 * + V 2 0 *	照合結果 NG バイブレーション 無し	■
 * + V 2 1 *	照合結果 NG バイブレーション 有り	
 * + V 2 2 *	照合結果 NG バイブレーション時間 100 ミ秒	

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + V 2 3 *	照合結果 NG パイプリーク時間 200 ミリ秒	
 * + V 2 4 *	照合結果 NG パイプリーク時間 300 ミリ秒	
 * + V 2 5 *	照合結果 NG パイプリーク時間 500 ミリ秒	
 * + V 2 6 *	照合結果 NG パイプリーク時間 1 秒	
 * + V 2 7 *	照合結果 NG パイプリーク時間 3 秒	
 * + V 2 8 *	照合結果 NG パイプリーク時間 5 秒	
 * + V 2 9 *	照合結果 NG パイプリーク時間 トリガ 押下迄	■
 * + S 7 0 *	照合結果 NG ビーゾ 音色 無し	
 * + S 7 1 *	照合結果 NG ビーゾ 音色 低音	■
 * + S 7 2 *	照合結果 NG ビーゾ 音色 中音	
 * + S 7 3 *	照合結果 NG ビーゾ 音色 高音	
 * + S 8 1 *	照合結果 NG ビーゾ 鳴動時間 100 ミリ秒	
 * + S 8 2 *	照合結果 NG ビーゾ 鳴動時間 200 ミリ秒	
 * + S 8 3 *	照合結果 NG ビーゾ 鳴動時間 300 ミリ秒	
 * + S 8 4 *	照合結果 NG ビーゾ 鳴動時間 400 ミリ秒	
 * + S 8 5 *	照合結果 NG ビーゾ 鳴動時間 500 ミリ秒	■

14.6. マスタ照合機能

マスタ照合機能は、事前にマスタデータとしてメモリに登録されたバーコードと実際に読み取ったコードを照合し、OK/NGの判定を行う機能です。

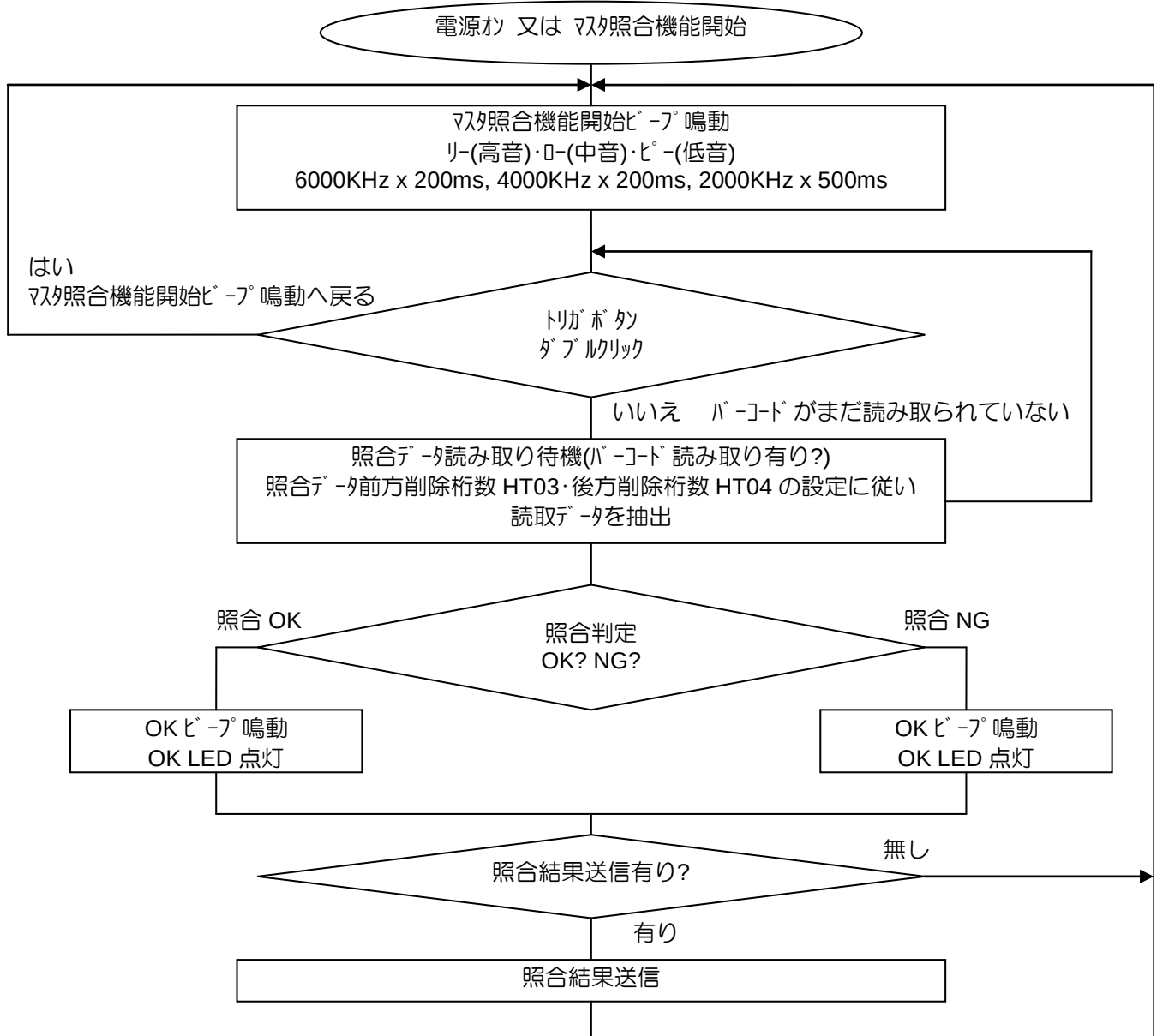
OK/NG それぞれにビープ音色・鳴動時間及びLED点灯回数・点灯時間を設定できるため、オペレータはPCの画面を確認することなく作業を行うことが可能です。また、照合結果送信有りに設定することで、照合結果をPCに送信することができます。送信フォーマットは下記の通りです。

照合結果送信フォーマット

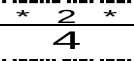
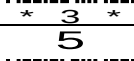
ヘッダ	プリフィックス	照合データ	照合結果 フィールドセパレータ	結果 NG/OK	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	-------	--------------------	-------------	----------	--------

ヘッダ/プリフィックス/ポストフィックス/ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

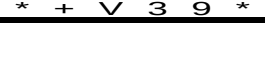
マスタ照合機能動作フローチャート



設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W I 3 *	マスタ照合機能無し	■
 * + W I 2 *	マスタ照合機能有り	
 * + W I 9 *	マスタ全件削除	
 * + W S B *	マスタデータ登録 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてマスタデータとして登録したいバーコードをスキャンして、最後に設定終了コマンドバーコードをスキャンします。約 30 件のマスタデータをメモリに登録することができます。	
 * + W S 0 *	照合結果フィルドセレクト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルサーチバーコード表(本書補足 B)から 1 文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意の照合結果フィルドセレクトを設定します。	, (2Ch)
 * H T 0 5 *	マスタデータ前方削除桁数	0
 * H T 0 6 *	マスタデータ後方削除桁数	0
 * H T 0 3 *	照合データ前方削除桁数	0
 * H T 0 4 *	照合データ後方削除桁数	0
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W 1 7 *	マタ照合結果送信 無し	
 * + W 1 6 *	マタ照合結果送信 有り	■
 * + M 1 1 *	照合結果 OK LED 1 回点灯	■
 * + M 1 2 *	照合結果 OK LED 2 回点灯	
 * + M 1 3 *	照合結果 OK LED 3 回点灯	
 * + M 1 4 *	照合結果 OK LED 4 回点灯	
 * + M 1 5 *	照合結果 OK LED 5 回点灯	
 * + M 2 1 *	照合結果 OK LED 点灯時間 100 ミリ秒	
 * + M 2 2 *	照合結果 OK LED 点灯時間 200 ミリ秒	
 * + M 2 3 *	照合結果 OK LED 点灯時間 300 ミリ秒	■
 * + M 2 4 *	照合結果 OK LED 点灯時間 400 ミリ秒	
 * + M 2 5 *	照合結果 OK LED 点灯時間 500 ミリ秒	
 * + V 3 0 *	照合結果 OK バックレション 無し	■
 * + V 3 1 *	照合結果 OK バックレション 有り	
 * + V 3 2 *	照合結果 OK バックレション時間 100 ミリ秒	
 * + V 3 3 *	照合結果 OK バックレション時間 200 ミリ秒	■
 * + V 3 4 *	照合結果 OK バックレション時間 300 ミリ秒	
 * + V 3 5 *	照合結果 OK バックレション時間 500 ミリ秒	
 * + V 3 6 *	照合結果 OK バックレション時間 1 秒	
 * + V 3 7 *	照合結果 OK バックレション時間 3 秒	
 * + V 3 8 *	照合結果 OK バックレション時間 5 秒	
 * + V 3 9 *	照合結果 OK バックレション時間 トリカ 押下迄	

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + M 3 0 *	照合結果 OK ビーブ 音色 無し	
 * + M 3 1 *	照合結果 OK ビーブ 音色 低音	
 * + M 3 2 *	照合結果 OK ビーブ 音色 中音	
 * + M 3 3 *	照合結果 OK ビーブ 音色 高音	■
 * + M 4 1 *	照合結果 OK ビーブ 鳴動時間 100 ミリ秒	
 * + M 4 2 *	照合結果 OK ビーブ 鳴動時間 200 ミリ秒	
 * + M 4 3 *	照合結果 OK ビーブ 鳴動時間 300 ミリ秒	
 * + M 4 4 *	照合結果 OK ビーブ 鳴動時間 400 ミリ秒	
 * + M 4 5 *	照合結果 OK ビーブ 鳴動時間 500 ミリ秒	■
 * + M 5 1 *	照合結果 NG LED 1 回点灯	
 * + M 5 2 *	照合結果 NG LED 2 回点灯	
 * + M 5 3 *	照合結果 NG LED 3 回点灯	■
 * + M 5 4 *	照合結果 NG LED 4 回点灯	
 * + M 5 5 *	照合結果 NG LED 5 回点灯	
 * + M 6 1 *	照合結果 NG LED 点灯時間 100 ミリ秒	
 * + M 6 2 *	照合結果 NG LED 点灯時間 200 ミリ秒	
 * + M 6 3 *	照合結果 NG LED 点灯時間 300 ミリ秒	■
 * + M 6 4 *	照合結果 NG LED 点灯時間 400 ミリ秒	
 * + M 6 5 *	照合結果 NG LED 点灯時間 500 ミリ秒	
 * + V 4 0 *	照合結果 NG バイブレーション 無し	■
 * + V 4 1 *	照合結果 NG バイブレーション 有り	
 * + V 4 2 *	照合結果 NG バイブレーション時間 100 ミリ秒	

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + V 4 3 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 200 ミリ秒	
 * + V 4 4 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 300 ミリ秒	
 * + V 4 5 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 500 ミリ秒	
 * + V 4 6 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 1 秒	
 * + V 4 7 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 3 秒	
 * + V 4 8 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 5 秒	
 * + V 4 9 *	照合結果 NG バックレゾナンス時間 トリガ 押下迄	■
 * + M 7 0 *	照合結果 NG ビープ音 音色 無し	
 * + M 7 1 *	照合結果 NG ビープ音 音色 低音	■
 * + M 7 2 *	照合結果 NG ビープ音 音色 中音	
 * + M 7 3 *	照合結果 NG ビープ音 音色 高音	
 * + M 8 1 *	照合結果 NG ビープ音 鳴動時間 100 ミリ秒	
 * + M 8 2 *	照合結果 NG ビープ音 鳴動時間 200 ミリ秒	
 * + M 8 3 *	照合結果 NG ビープ音 鳴動時間 300 ミリ秒	
 * + M 8 4 *	照合結果 NG ビープ音 鳴動時間 400 ミリ秒	
 * + M 8 5 *	照合結果 NG ビープ音 鳴動時間 500 ミリ秒	■

14.7. バーコードシボ 1 個別桁数送信

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 * + WD0 *	JAN/EAN/UPC 桁数送信無し	
 * + WC0 *	JAN/EAN/UPC 桁数送信有り	■
 * + WD1 *	コード 39 桁数送信無し	
 * + WC1 *	コード 39 桁数送信有り	■
 * + WD2 *	コード 128 桁数送信無し	
 * + WC2 *	コード 128 桁数送信有り	■
 * + WD3 *	コード 11 (NW7) 桁数送信無し	
 * + WC3 *	コード 11 (NW7) 桁数送信有り	■
 * + WD4 *	コード 93 桁数送信無し	
 * + WC4 *	コード 93 桁数送信有り	■
 * + WD5 *	MSI 桁数送信無し	
 * + WC5 *	MSI 桁数送信有り	■
 * + WD6 *	GS1 Databar 桁数送信無し	
 * + WC6 *	GS1 Databar 桁数送信有り	■
 * + WD7 *	インターリーブド 2/5 桁数送信無し	
 * + WC7 *	インターリーブド 2/5 桁数送信有り	■
 * + WD9 *	インターリーブド 2/5 桁数送信無し	
 * + WC9 *	インターリーブド 2/5 桁数送信有り	■
 * + WD8 *	COOP 2/5 (NEC 2/5) 桁数送信無し	
 * + WC8 *	COOP 2/5 (NEC 2/5) 桁数送信有り	■

✓ バーコードシボ 1 個別桁数送信を有りにした場合でも、「7.6. 桁数送信」が無しに設定されている場合は、全バーコードシボ 1 の桁数送信は行われません。

14.8. ファンクション-エミュレーション(新)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 *CP06*	無し	■
 *CP05*	有り(キーボードコード表1)	
 *CP04*	有り(キーボードコード表2)	

14.9. GS1 AI 編集機能

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 *AI00*	無し	■
 *AI01*	有り	
 *AI05*	<u>エラー時出力 無し</u> 条件に合わない GS1 コード を読み取るとエラービープを鳴動し、データ送信を行いません。	■
 *AI04*	<u>エラー時出力 有り</u> 条件に合わない GS1 コード を読み取ると、読み取ったデータをそのまま送信します。	
 *AI02*	<u>出力モード セパレートモード</u> セパレートモード に設定した場合は、下記のコマンドバーコード で定義済みセパレータを設定するか、次頁の「AI セパレート登録」で AI 毎に任意のセパレータ(ハット・フック)を設定してください。	■
 *AI03*	<u>出力モード (AI)モード</u> (AI)モード に設定した場合は、GS1 コード のヒューマンリーダブルと同様に AI が()で囲まれた形でデータ送信されます。	
 *AI23*	定義済みセパレータ リセット(無し)	
 *AI27*	定義済みセパレータ カマ(,)	
 *AI24*	定義済みセパレータ TAB	
 *AI25*	定義済みセパレータ STX/ETX	

✓GS1 AI 編集機能は、GS1-128 GS1 Databar IXTA システム共にフィールドセパレータをデフォルトのGS(1Dh)に設定して使用ください。フィールドセパレータが正しく認識できないと、GS1 AI 編集機能は、正しく動作しません。

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A I 1 2 *	AI フィールド登録 リセット	
 * A I 1 1 *	AI フィールド登録 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで AI (2~4 桁)、ヘキサ 4 桁 (Hex)・フッタ 4 桁 (Hex) をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンし、続けて、次の AI (2 桁)、ヘキサ 4 桁 (Hex)・フッタ 4 桁 (Hex) をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。同様に続けて、最大 5 個迄の AI・ヘキサ・フッタを登録可能です。例えば、01, 10, 15 と 3 つの AI をそれぞれ STX/ETX で囲んで出力する場合、「設定開始」「AI 登録」「0」「1」「0」「2」「0」「0」「0」「3」「0」「0」「確定」「1」「0」「0」「2」「0」「0」「0」「3」「0」「0」「確定」「1」「5」「0」「2」「0」「0」「0」「3」「0」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。ヘキサ・フッタの 00 は、無しを意味します。	
数値バーコード		
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *
 * 3 *	 * 4 *	 * 5 *
 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *
 * 9 *	 * A *	 * B *
 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	 * S E T *	

✓GS1 AI 編集機能は、GS1-128 GS1 Databar I に対応し、共にフィールド フィールドをデフォルトの GS(1Dh) に設定して使用ください。フィールド フィールドが正しく認識できないと、GS1 AI 編集機能は、正しく動作しません。

14.9.1. GS1 AI 編集機能設定例

AI03 = 出力モード (AI) モード

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード (AI) モード  * A I O 3 *	設定終了  * + - *
--	--	---	--



出力 = (01)19200550240064(10)5000(3303)060580(17)100126<Enter>

AI02 = 出力モード せりーモード /せりータ カマ(,)

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード せりーモード  * A I O 2 *	せりータ カマ(,)  * A I 2 7 *
設定終了  * + - *			



出力 = 0119200550240064,105000,3303060580,17100126<Enter>

AI02 = 出力モード せりーモード /せりータ TAB

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード せりーモード  * A I O 2 *	せりータ TAB  * A I 2 4 *
設定終了  * + - *			



出力 = 0119200550240064<TAB>105000<TAB>3303060580<TAB>17100126<Enter>

AI02 = 出力モード せりてモード /せりて STX/ETX

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コード など GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード せりてモード  * A I O 2 *	せりて STX/ETX  * A I 2 5 *
設定終了  * + - *			



出力 = <STX>0119200550240064<ETX><STX>105000<ETX><STX>3303060580<ETX><STX>17100126<ETX><Enter>

AI02 = 出力モード せりてモード /AI11 = 任意 AI せりて(ハット #\$, フット %&)

AI 01/10/15/30/17 で構成される GS1 コードを読み取り、それぞれの AI データの前後に #と %& を付加します。例えば、下記の GS1 コードは、



#\$97847973029746%&#\$4011%&#\$080925%&#\$5000%&#\$090811%&<Enter>

と出力されます。

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コード など GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード せりてモード  * A I O 2 *	AI せりて  * A I 1 1 *
AI-01  * 0 *	 * 1 *	ハット 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハット 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フット 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フット 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	
AI-10  * 1 *	 * 0 *	ハット 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハット 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フット 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フット 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	

AI-15  * 1 *	 * 5 *	ハッタ [°] 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハッタ [°] 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フッタ 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フッタ 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	
AI-30  * 3 *	 * 0 *	ハッタ [°] 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハッタ [°] 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フッタ 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フッタ 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	
AI-17  * 1 *	 * 7 *	ハッタ [°] 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハッタ [°] 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フッタ 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フッタ 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	
設定終了  * + - *			

補足 A. キーボードコード表

キーボードコード表 1								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		テンキ- 5	SP	0	@	P	`	p
1	Insert	F1	!	1	A	Q	a	q
2	Delete	F2	"	2	B	R	b	r
3	Home	F3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	\$	4	D	T	d	t
5	↑	F5	%	5	E	U	e	u
6	↓	F6	&	6	F	V	f	v
7	←	F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(	8	H	X	h	x
9	HT/Tab	F9	)	9	I	Y	i	y
A	テンキ- Enter	F10	*	:	J	Z	j	z
B	→	F11	+	;	K	[	k	{
C	Page Up	F12	,	<	L	¥	l	
D	Enter	ESC	-	=	M	]	m	}
E	Page Down	左 CTRL	.	>	N	^	n	~
F	Shift	右 ALT	/	?	O	_	o	

✓ファンクション-イミューション 1 を有りに設定した場合、01~1Fhex に対応する網掛け部分のファンクションキーが送信されます。
尚、この機能は、キーボードインターフェイス及び USB キーボードインターフェイスでのみ使用可能です。

キーボードコード表 2								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		左 ALT メイク	SP	0	@	P	`	p
1	Insert	F1	!	1	A	Q	a	q
2	Delete	F2	"	2	B	R	b	r
3	Home	F3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	\$	4	D	T	d	t
5	↑	F5	%	5	E	U	e	u
6	↓	F6	&	6	F	V	f	v
7	←	F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(	8	H	X	h	x
9	HT/Tab	左 ALT ブレイク	)	9	I	Y	i	y
A	テンキ- Enter	左 CTRL メイク	*	:	J	Z	j	z
B	→	左 CTRL ブレイク	+	;	K	[	k	{
C	Page Up	右 ALT	,	<	L	¥	l	
D	Enter	左 ALT	-	=	M	]	m	}
E	Page Down	右 CTRL	.	>	N	^	n	~
F	Shift	左 CTRL	/	?	O	_	o	

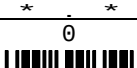
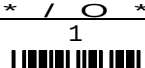
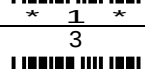
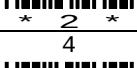
✓ファンクション-イミューション 2 を有りに設定した場合、01~1Fhex に対応する網掛け部分のファンクションキーが送信されます。
尚、この機能は、キーボードインターフェイス及び USB キーボードインターフェイスでのみ使用可能です。

補足 B. ASCII コード 表

ASCII コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

補足 C. フォアスキーコード表

NUL  * % U *	SOH/INSERT  * \$ A *
STX/DELETE  * \$ B *	ETX/HOME  * \$ C *
EOT/END  * \$ D *	ENQ/UP  * \$ E *
ACK/DOWN  * \$ F *	BEL/LEFT  * \$ G *
BS/BACK SPACE  * \$ H *	HT/TAB  * \$ I *
LF/ENTER(NUM)  * \$ J *	VT/RIGHT  * \$ K *
FF/PgUp  * \$ L *	CR/ENTER  * \$ M *
SO/PgDn  * \$ N *	SI/SHIFT  * \$ O *
DLE/5(NUM)  * \$ P *	DC1/F1  * \$ Q *
DC2/F2  * \$ R *	DC3/F3  * \$ S *
DC4/F4  * \$ T *	NAK/F5  * \$ U *
SYN/F6  * \$ V *	ETB/F7  * \$ W *
CAN/F8  * \$ X *	EM/F9  * \$ Y *
SUB/F10  * \$ Z *	ESC/F11  * % A *
FS/F12  * % B *	GS/ESC  * % C *
RS/CTRL(L)  * % D *	US/ALT(L)  * % E *
確定  * S E T *	

SPACE  * / *	!  * / A *
"  * / B *	#  * / C *
\$  * / D *	%  * / E *
&  * / F *	'  * / G *
( * / H *	)  * / I *
*  * / J *	+  * / K *
,  * / L *	-  * - *
.  * . *	/  * / O *
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
:  * / Z *	;  * % F *
<  * % G *	=  * % H *
>  * % I *	?  * % J *
@  * % V *	A  * A *
確定  * S E T *	

B  * B *	C  * C *
D  * D *	E  * E *
F  * F *	G  * G *
H  * H *	I  * I *
J  * J *	K  * K *
L  * L *	M  * M *
N  * N *	O  * O *
P  * P *	Q  * Q *
R  * R *	S  * S *
T  * T *	U  * U *
V  * V *	W  * W *
X  * X *	Y  * Y *
Z  * Z *	[ * % K *
¥  * % L *	]  * % M *
^  * % N *	-  * % O *
`  * % W *	a  * + A *
b  * + B *	c  * + C *
確定  * S E T *	

d  * + D *	e  * + E *
f  * + F *	g  * + G *
h  * + H *	i  * + I *
j  * + J *	k  * + K *
l  * + L *	m  * + M *
n  * + N *	o  * + O *
p  * + P *	q  * + Q *
r  * + R *	s  * + S *
t  * + T *	u  * + U *
v  * + V *	w  * + W *
x  * + X *	y  * + Y *
z  * + Z *	{  * % P *
  * % Q *	}  * % R *
~  * % S *	DEL  * % T *
確定  * S E T *	

補足 D. シリアルコマンド

バーコードリーダーは、各種シリアルコマンドをサポートしています。シリアルコマンドは、Bluetooth SPP 及び USB バーチャル COM (USB-COM) インターフェイス接続で使用可能です。

補足 D.1. コンフィギュレーションコマンド

下記のパケットフォーマットに従って、コンフィギュレーションコマンドを送信することで、バーコードリーダーの設定を行うことができます。

パケットフォーマット	
コマンド ID (1 バイト)	コマンド (4 バイト)
AAhex	ex) RC01

コマンド (4 バイト) には、本書にあるコマンドバーコード下に記載された 4 文字 (下記の赤枠部分) の英数字が入ります。

4.1. 読み取りモード

設定開始	設定キャンセル	設定終了
		

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	トリガモード トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。	■
	オートスキャンモード 常にスキャンを試みます。バーコードの読み取りが、フラッシュモード移行タイマー内にバーコードが読み取られない場合は、フラッシュモードに移行します。	■ (TS-30)
	リスタートモード トリガボタンを一度押すと、スキャンモードとなり、再度トリガボタンを押すと、スキャンを終了します。	
	ライトモード オートスキャンモードと基本的に同じ動作をしますが、同一バーコードにビームを照射させた状態で、トリガボタンを押すことで、同一バーコードの連続読み取りが可能になります。	

バーコードリーダーは、コンフィギュレーションコマンドを受信すると、コマンドを正しく受信し、実行したことを示すため、ビープを鳴動し、ACK(06hex)を返送します。実行できないコマンドを受信した場合、バーコードリーダーは何も応答しません。

下記の例を示します。

トリガモード (SM01) に設定する場合		
PC	送受信方向	バーコードスキャン
<0xAA>SM01	→	
	←	<0x06>

オートスキャンモード (SM02) に設定する場合		
PC	送受信方向	バーコードスキャン
<0xAA>SM02	→	
	←	<0x06>

オートスキャンモード (SM02) に設定する場合		
PC	送受信方向	バーコードスキャン
<ESC>LA100<CR>	→	
	←	応答なし (先に LA199 コマンド が実行されている必要があります)

補足 D.2. トリガコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バーコードリーダー 応答例
<ESC>A0<CR>	<u>レベルトリガ コマンド</u> トリガ オフコマンド で読取フェーズ を終了します。	<ACK>
<ESC>A1<CR>	<u>トリガ オフコマンド</u> 読取フェーズ を終了します。	<ACK>
<ESC>A0.mm<CR> mm = 01~60 設定単位 = 秒	<u>スキャンパス(タイムアウト付)</u> 指定された時間が経過するか、バーコード の読み取りに成功すると、読取フェーズ を終了します。トリガ オフコマンド は必要ありません。	<ACK>
<ESC>A2<CR>	<u>スキャンパス</u> トリガ モード と同じで、バーコード の読み取りに成功すると、読取フェーズ を終了します。	<ACK>
<ESC>A2.mm<CR> mm = 01~60 設定単位 秒	<u>イベントトリガ コマンド (タイムアウト付)</u> 指定された時間が経過すると、読取フェーズ を終了します。トリガ オフコマンド は必要ありません。	<ACK>

✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。

補足 D.3. ブザーコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バーコードリーダー 応答例
<ESC>B0mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>低音ブザー-鳴動コマンド</u> 指定された時間、低音ブザー-を鳴動します。 00 = ブザー-停止 99 = ブザー-停止(00)受信まで低音ブザー-を鳴動	<ACK>
<ESC>B1mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>中音ブザー-鳴動コマンド</u> 指定された時間、中音ブザー-を鳴動します。 00 = ブザー-停止 99 = ブザー-停止(00)受信まで中音ブザー-を鳴動	<ACK>
<ESC>B2mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>高音ブザー-鳴動コマンド</u> 指定された時間、高音ブザー-を鳴動します。 00 = ブザー-停止 99 = ブザー-停止(00)受信まで高音ブザー-を鳴動	<ACK>

✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。

補足 D.4. LED コマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バーコードリーダー 応答例
<code><ESC>Lx0mm<CR></code> x = A, B, C, D A : 赤 LED B : 緑 LED C : 橙 LED D : 青 LED mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>LED 点灯コマンド</u> 指定された時間、LED を点灯します。 00 = LED 消灯停止 99 = LED 消灯(00)受信まで LED を点灯	<ACK>
<code><ESC>Lx1mm<CR></code> x = A, B, C, D A : 赤 LED B : 緑 LED C : 橙 LED D : 青 LED mm = 00~99 設定単位 10 ミリ秒	<u>LED 点滅コマンド</u> 指定された間隔で LED を点滅させ、LED 消灯(00)受信で消灯します。 00 = LED 消灯停止	<ACK>
<code><ESC>LRST<CR></code>	<u>LED リセットコマンド</u> LED ステータスをリセットします。必ず、Lxx99→Lxx00→LRST の順で送信します。	<ACK>

✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。

補足 D.5. バイブレーションコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バーコードリーダー 応答例
<code><ESC>V0mm<CR></code> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>LED 点灯コマンド</u> 指定された時間、バイブレーションを動作させます。 00 = バイブレーション停止 99 = バイブレーション停止(00)受信までバイブレーションを動作	<ACK>

✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。

補足 D.6. その他のコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バーコードリーダー 応答例
<code><ESC>M<CR></code>	<u>モデル番号要求コマンド</u> バーコードリーダーは、このコマンドを受信すると、<ACK>と自信のモデル番号を<CR>を付加して返送します。	<ACK>AID-3000<CR>
<code><ESC>Nxx<CR></code>	<u>ニックネーム設定コマンド</u> バーコードリーダーのニックネームを設定します。xx には、1 桁~10 桁の文字列が指定可能です。設定されたニックネームは、バーコードリーダーのフラッシュ ROM に保存されるため、電源を切にしても消えることはありません。	<ACK>
<code><ESC>S<CR></code>	<u>ニックネーム要求コマンド</u> バーコードリーダーは、このコマンドを受信すると、<ACK>と自信のニックネームを<CR>を付加して返送します。	<ACK>WELCOM01<CR>

✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。

補足 E. サンプルバーコード

コード 39



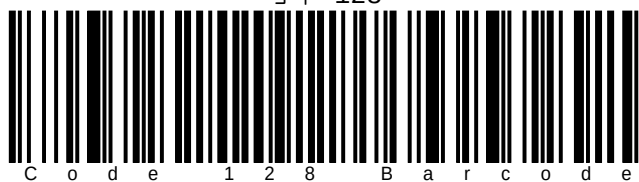
JAN-13



インターリーブド 2/5 (ITF)



コード 128



GS1-128



GS1 Databar イクスパンデッド



修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドバツ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に[]回程度 インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB ☐ その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 [] その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印